

**平成28年度 地区別人権教育研究協議会**

# **安中二中の人権教育**

**文部科学省 平成27・28年度 人権教育研究推進事業研究指定校**

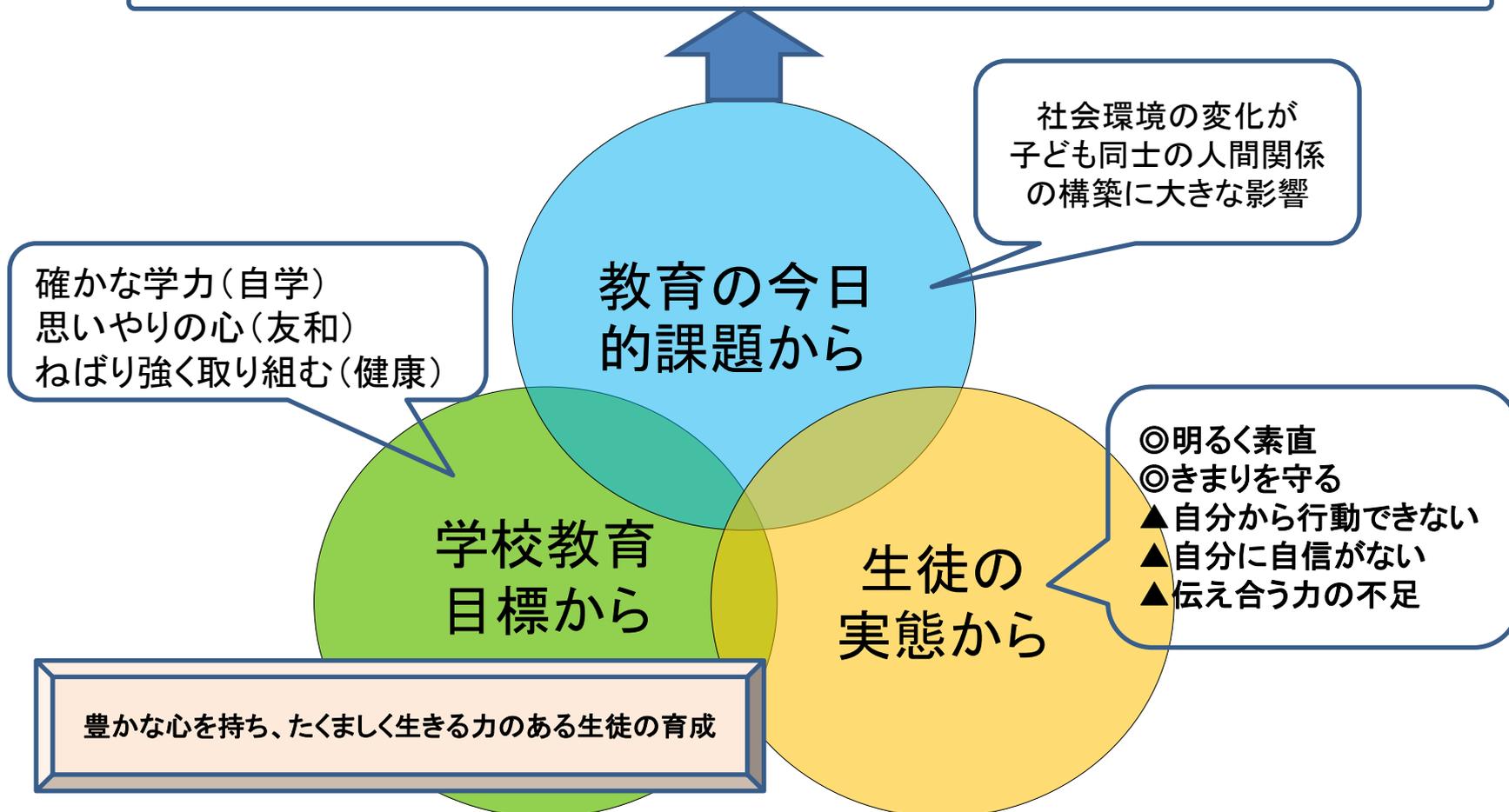
**安中市立第二中学校**

# 研究主題

**「自尊心を高め、  
温かい人間関係を育む生徒の育成」  
～自他のよさを認め、  
思いを伝え合う活動を通して～**

# 主題設定の理由

「自尊感情を高め、温かい人間関係を育む生徒の育成」  
～自他のよさを認め、思いを伝え合う活動を通して～

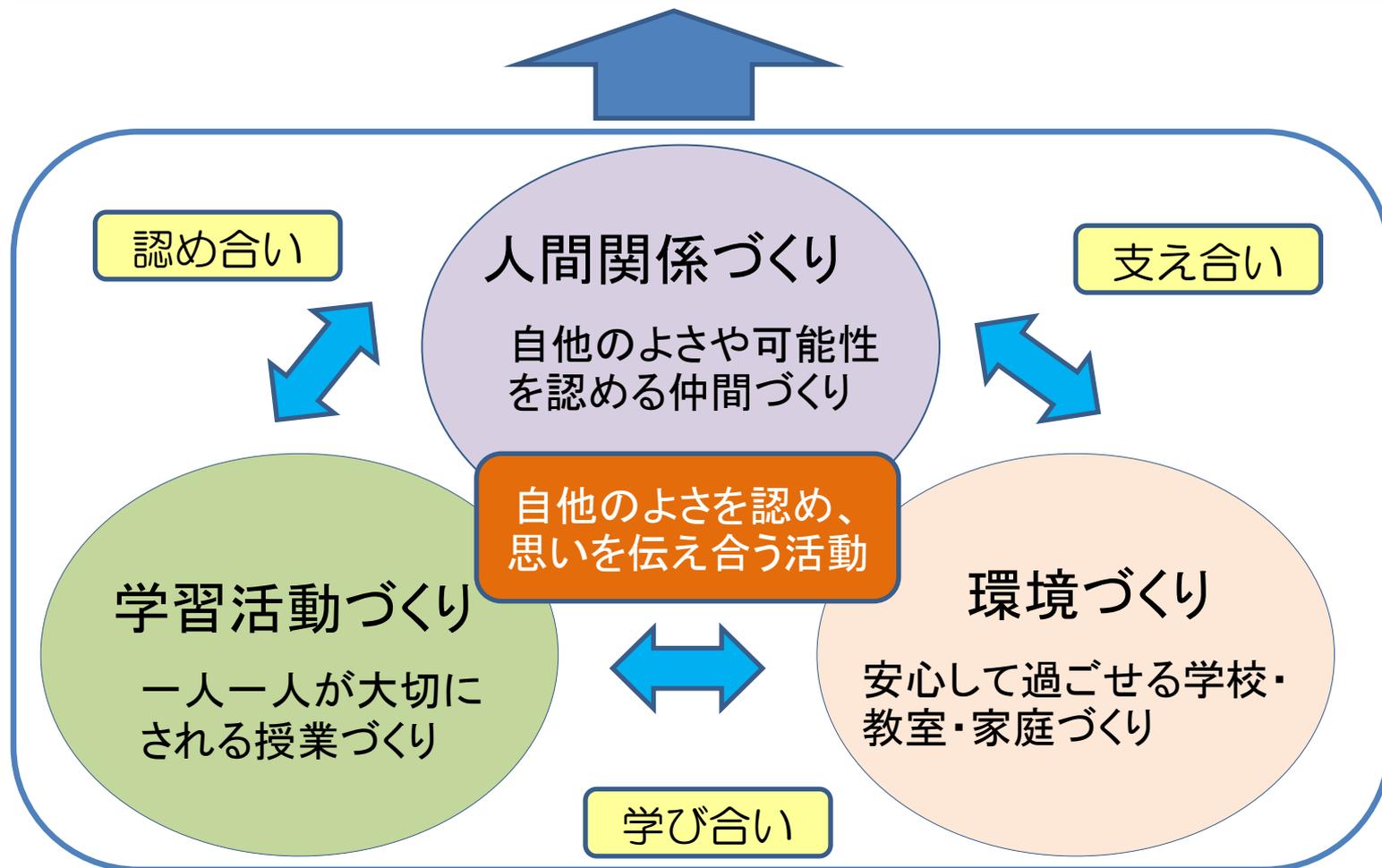


# 研究のねらい

全教育活動(人間関係づくり・学習活動づくり・環境づくり)において、自他のよさを認め、思いを伝え合う活動を実践することにより、自尊感情を高め、温かい人間関係を育む生徒の育成が図れることを、実践と研究を通して明らかにする。

# 各部会の連携

「自尊感情を高め、温かい人間関係を育む生徒の育成」



# 本校の人権教育で育てたい能力・態度

感性	自己を理解し、自尊感情を高めるとともに、他者のよさや大切さに気づき、共に生きる喜びを感じる。
知性	人権を尊重することや温かい人間関係を育むことの大切さと様々な人権に関する課題を理解する。
技能	集団生活における規範意識を身に付け、人間関係づくりの基礎となる伝え合う力を身に付ける。
判断力	他者の考えや情報を踏まえ、科学的・合理的な見方・考え方により物事を公正・公平に判断する。
実践力	互いのよさや違いを認め、身近な人権問題に気づき、解決しようとすることができる。

# 研究の内容

(ア) 人間関係づくり部会



(イ) 学習活動づくり部会



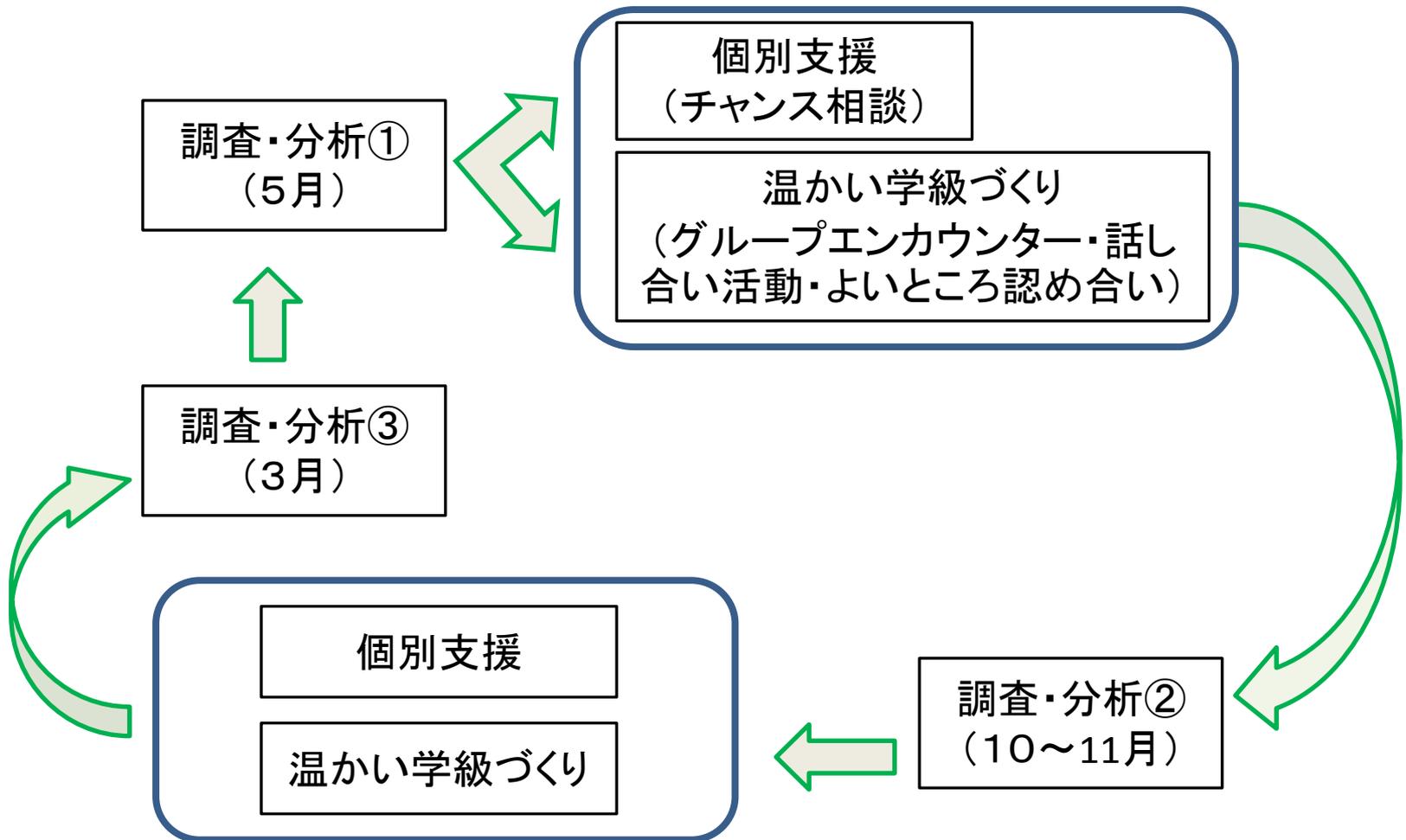
(ウ) 環境づくり部会



# (ア) 人間関係づくり部会の取組

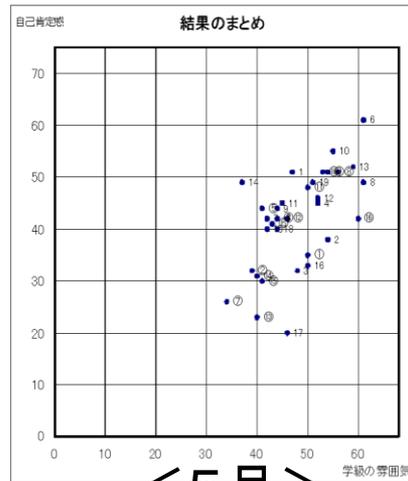
- 温かい学年・学級づくり
  - ・ C&S調査の実施
  - ・ 構成的グループ・エンカウンター
  - ・ 各学年・学級での取組
- 生徒主体の活動
  - ・ 生徒会の取組
  - ・ 各委員会の「思いやり活動」
- 交流を通じた体験的活動

# 【温かい学年・学級づくり】 C&S調査の実施

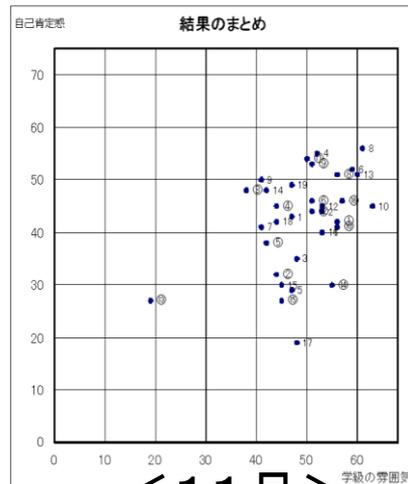


# 【温かい学年・学級づくり】

## C&S調査の実施

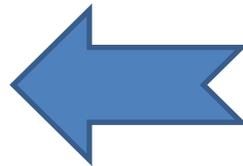
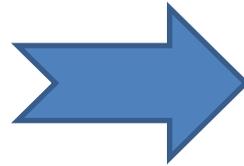


<5月>



<11月>

学級担任  
が分析

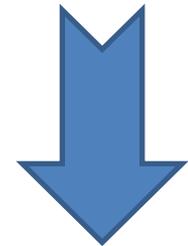


C & S 調査が終わってからの活動  
年 組

- 1 プロット図から、学級の実態を把握  
①：集団としてどんな感じか
- 2：心配な個に着目する  
①プロット図を見て分かる心配な個  
  
②日頃心配な個とプロット図とのギャップがある個がいるか  
  
③リーダーのプロット位置  
  
④問題傾向のある個のプロット位置

【どうしてこうなっているか】←担任が分析して、発表

学年で共有  
手立ての  
検討



全校で共有

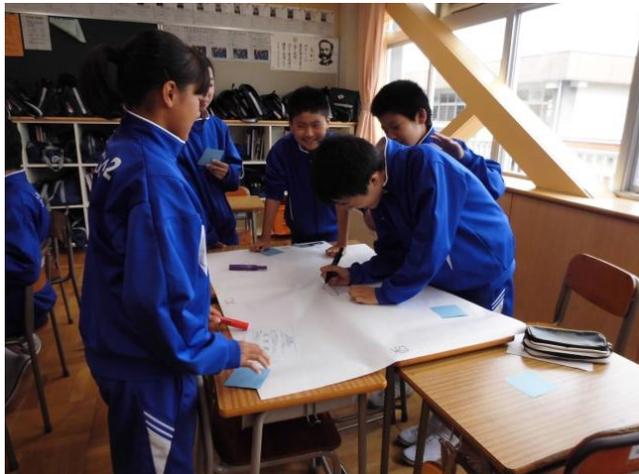
# 【温かい学年・学級づくり】 構成的グループエンカウンター



すごろくトークング



新聞紙パズル



みんなで宝探し

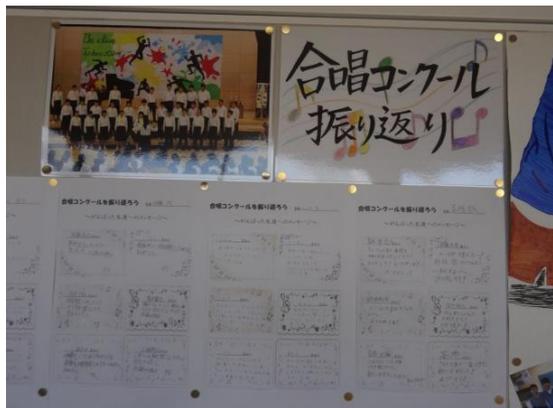


じゃんけん自己紹介

→ 人権教育年間指導計画への位置づけ

# 【温かい学年・学級づくり】

## 各学年・学級での取組



合唱コンクール振り返り  
「がんばった友達へメッセージ」

「クラスの人権スローガンを考えよう」



KJ法で意見をまとめる



友達のよいところを紹介「いいねボックス」



話し合い活動

# 【生徒主体の活動】

## 生徒会の取組



ボランティア清掃「ピカピカマンデー」



人権スローガンの発表



各委員会「思いやり活動」の発表



小学生と合同のあいさつ運動

# 【生徒主体の活動】

## 各委員会の「思いやり活動」



保健委員会「レドリボン運動」



JRC委員会「エコキャップ回収」



文化委員会「思いやり標語の掲示」



給食委員会「給食感謝の会」

# 【交流を通じた体験的活動】



保育園実習(3年生)



職場体験学習(2年生)



安中総合学園高校の出前講座(1年生)



# (イ) 学習活動づくり部会の取組

- 年間指導計画の見直し・改善
- 人権教育とのかかわりを明確にした授業実践
  - ・人権の視点に立った授業スタイル
  - ・伝え合う活動の工夫
- 人権に関連した道德の充実

# 【人権教育年間指導計画の見直し・改善】

平成28年度

人権教育年間指導計画(第1学年)

育てたい能力・態度

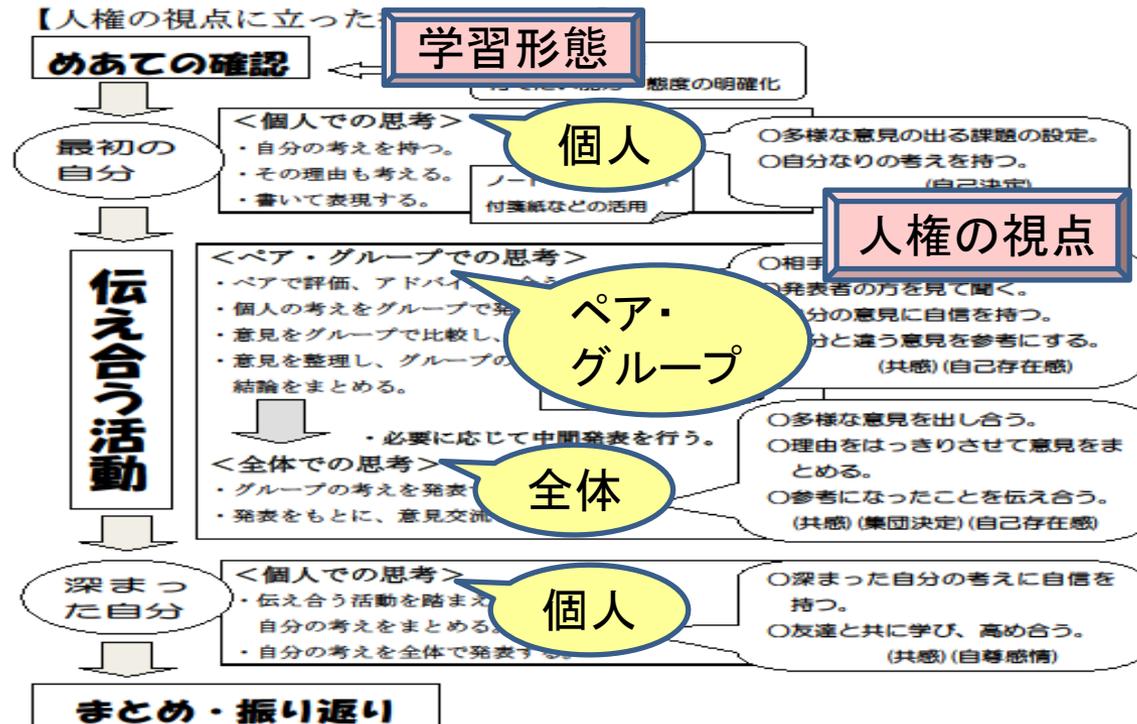
学年	月別人権目標											
重要事項	①障害のある人たち ②外国人の人たち ③HIV感染者等 ④ハンセン病患者 ⑤犯罪被害者等 ⑥インターネット等 ⑦その他											
育てたい能力態度	知性(知) 人権を尊重することや誰かの人権に関心することの大切さと様々な人権に関する課題を理解する。技術(技) 集団生活における規範を身につけ、人間関係づくりの基礎となる伝え合い力を身に付ける。						判断力(判) 他者の考えや情報を踏まえ、科学的・合理的な見方・考え方により物事を公正・公平に判断する。実践力(実) 互いの上や違いを認め、身近な人権問題に気付き、解決しようとするができる。					
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人権教育月別目標	出会いを大切に、新しい仲間となじもう	お互いのよさを認め合い、他から学ぶことを心がけよう	クラスの結びつきを深め、目標を持って行動していこう	自分自身を見つめ、ステップアップを図ろう	自己の個性を生かした取り組みを考えよう	自己を敬愛し、連帯意識を高めよう	友和祭に向けて自己表現の場を大切にしよう	集団の中での自分の役割を見直し、よりよい人間関係を築こう	人権教育を通して、差別をしない、負けない、許さない精神を育てよう	人権集中学習で学んだことを振り返り、思いやりの気持ちを忘れないうちにしよう	思いやりや感謝の気持ちをもって行動しよう	1年の締めくくり、自己をみつめてみよう
各教科	技術「家庭! 家庭! 家庭と子どもの成長」②(知)	技術「家庭! 情報に関する技術」⑧(知・技)	国語「ベンチ」①(知・判)	英語「Our New Friend」(インドからの転校生)④(知・判)	英語「Sports for Everyone」(いろいろなスポーツ)④(知・判)	保健体育「心身の発達」①(知・判)	英語「Sports for Everyone」(いろいろなスポーツ)④(知・判)	技術「家庭! 快適に住まう」②③(知・技)	国語「言葉と言葉が生み出す世界」(メディアリテラシー)⑩(知・技)	保健体育「心の健康」(知・判)	社会「江戸幕府の成立と鎖国」⑨(知)	美術「身近な人を見つめて」⑪
道徳	【思いやり】	【思いやり】	【思いやり】	【思いやり】	【思いやり】	【思いやり】	【思いやり】	【思いやり】	【思いやり】	【思いやり】	【思いやり】	【思いやり】
特別活動	学級活動 人権クイズ大会(知)	SGEの活動計画 パネライン スロロキーン	生徒総会(実)	委員会活動(実)	あいさつ運動(生活)【年間】	激励会(感)	合唱コンクール練習(感・実)	生徒会選挙(実)	人権集会(知)	あいさつ運動(技)	学校保健委員会(保健)	卒業式(感・技・実)
学校行事	対面式(感・技・判)	意見発表会(感・判)	陸上記録会(感・実)	PTA奉仕作業	授業参観	高原学校(感・判・実)	三者面談	あいさつ運動	書き初め大会(感・判・実)	百人一首大会(感・判・実)		
総合的な学習の時間	各委員会による「思いやり活動」											職業調べ(感・実)
生徒指導	学校の生活について①(生徒心得、生活の決まり)(技)	学校の生活について②(あいさつ、チャーム着席、給食、清掃、登下校)(技)	人権学習の充実(感・知・技・判・実)	進路指導の充実(判)	保健指導の充実(知・実)	卒業式に向けて(感・知・実)	1年間の反省と新年度の準備(知・判・実)					
家庭・地域との連携	授業参観	家庭訪問	レクリエーション大会(感・判・実)	PTA奉仕作業	授業参観	高原学校(感・判・実)	三者面談	あいさつ運動	書き初め大会(感・判・実)	百人一首大会(感・判・実)		
学年行事その他		意見発表会(感・判)	陸上記録会(感・判・実)	PTA奉仕作業	授業参観	高原学校(感・判・実)	三者面談	あいさつ運動	書き初め大会(感・判・実)	百人一首大会(感・判・実)		

構成的グループ  
エンカウンター  
の活動計画

各委員会による  
「思いやり活動」

# 【人権教育とのかかわりを明確にした授業実践】

## 人権の視点に立った授業スタイル



<授業を通して育てたい能力・態度>

感性	自他のよさを認め合い、共に学ぶよさ	<b>育てたい能力・態度</b>
知性	人権を尊重する大切さや人権に関する	
技能	集団生活における規範意識を持ち、コミュニケーション能力を身に付ける。	
判断力	他者の考えや情報を踏まえ、科学的・合理的な見方・考え方により物事を公正・公平に判断する。	
実践力	互いのよさや違いを認め、生活の中の問題を解決しようとする。	

# 【人権教育とのかかわりを明確にした授業実践】 伝え合う活動の工夫①



自分の考えをもち、付箋紙に書く



ペアでアドバイスし合う



各自の意見をもち寄り話し合う



付箋紙を分類しながら話し合う

# 【人権教育とのかかわりを明確にした授業実践】

## 伝え合う活動の工夫②



中間発表を参考にする



意見をまとめてホワイトボードに書く



グループの意見を発表する



グループの意見をもとに話し合う

# 【本日の授業】

1年	2年	3年
教科 理科 「浮力」	学級活動 「SNSを利用するときの 心構えを考えよう」	道徳 「温かい人間関係」
	直接的指導 重点課題⑩ 「インターネット等」	直接的指導 重点課題② 「子どもたち」 (思いやり)
	間接的指導	「伝え合う活動」

# (ウ)環境づくり部会の取組

- 教職員の人権感覚
  - ・常時指導の充実
  - ・人権感覚チェック
- 掲示物の工夫
  - ・人権コーナー・思いやりコーナー等
- 通信・HP等による啓発
  - ・人権だより・学校、学年、学級だより・HP
- PTAとの連携
  - ・あいさつ運動・授業参観
  - ・人権講演会・PTA広報誌

# 【教職員の人權感覚】

## 常時指導の充実

人權感覚チェックリスト					
見直してみましょう あなたの人權感覚					
	項目	当てはまる	やや当てはまる	当てはまらない	
朝の会	1. 欠席や遅刻を早めに把握し、対処している。	5	4	2	1
	2. 遅刻した生徒や前日に欠席・早退した生徒に言葉かけをしている。	5	4	2	1
交友関係	1. 生徒の交友関係を把握している。	5	4	2	1
	2. 仲間はずれや嫌がらせ、暴力などを把握し、すぐに対処している。	5	4	2	1
給食	1. 「いただきます」「ごちそうさま」など食材になった動植物の生命や調理した人への感謝の言葉をしっかりと合わせている。	5	4	2	1
	2. 配膳や片づけ等でいやな思いをする生徒がいないように気を配っている。	5	4	2	1
清掃	1. 清掃時間が始まったら素早く担当場所へ行き、一緒に清掃を行っている。	5	4	2	1
	2. いつも楽な仕事ばかりしている生徒や、大変な仕事を押しつけられている生徒がいないように気を配っている。	5	4	2	1
	3. 教室や廊下の黒板や掲示物に落書きはないか気をつけている。	5	4	2	1
のほ会	1. 明日の意欲につながるような言葉かけをしている。	5	4	2	1
	2. 部活動で、行き過ぎた上下関係がないか気をつけている。	5	4	2	1
部活動後	3. 部活動で失敗した生徒を指導する際、生徒の人格を否定するような叱り方や自信を失わせるような叱り方はしていない。	5	4	2	1
	1. 授業の開始、終了時刻を守っている。	5	4	2	1
授業	2. 空席の生徒の確認をしている。	5	4	2	1
	3. 誰もが設備・器具等を公平に使えるよう配慮している。	5	4	2	1
	4. 教師の期待とずれた生徒の答えの発言も尊重している。	5	4	2	1
	5. 生徒に失敗があった時、失敗に笑う者がいたら黙認せず、適切に指導している。	5	4	2	1
	6. 一人一人の顔を見て、名前を呼んで呼んでいる。	5	4	2	1
生徒に接する時	2. 生徒同志の相手を罵倒する言葉や暴言、あだ名を見ることがせず、適切に指導している。	5	4	2	1
	3. 生徒の話を親身になって聞いている。	5	4	2	1
	4. 生徒を指導する際、人格を否定するような注意の仕方はしていない。	5	4	2	1
	5. 失敗が多い生徒に対し、先入観で悪く評価してしまうことはない。	5	4	2	1
	6. 兄弟と比べて、ほめたりけなしたりすることはない。	5	4	2	1
	7. 生徒の欠点を見つけようとせず、よさに目を向けるように努力している。	5	4	2	1
	8. 失敗した生徒のことを、他の学級で例として話すことはない。	5	4	2	1
	9. 「がんばり」ではなく、「がんばっているね」などと生徒の努力を認める。				1
	10. 生徒の努力を認める。				1
その他	1. 文書や				1
	2. 個人情報				1

### 人權感覚チェックリスト

### 校内研修だより

10月号  
平成28年9月29日  
発行 校内研修委員会

◇10月の人權教育月別目標

**友和祭に向けて 自己表現の場を大切にしよう。**

◎友和祭に向けて、自分の仕事や役割に責任を持って取り組んでいこう。  
◎合唱コンクールや各発表に向けて、仲間と協力して取り組んでいこう。

10月の人權教育への取り組み【具体的な進め方を通して】

○事前・当日の指導（道徳・学活）

＜合唱コンクールに向けて＞

- ・クラスの一人ひとりが、力を合わせて合唱を作り上げていく意識、仲間との団結・協力、仲間から学び合う大切さを学級担任を中心に学年職員全員が学活・授業・学年集会等で生徒に語り、考えさせる。
- ・合唱練習の中で合唱への取り組みの熱心さや態度差を原因とするトラブル等も予想される。クラス全員が気持ち一つにして、ひとつのものをみんなで作り上げることの充実感、達成感を持たせながら、合唱コンクールに向かわせる。

＜実行委員、生徒会本部役員等の係生徒に対して＞

- ・クラス、学年、学校全体のリーダーとして文化祭における自分の責任を果たすことで、持てる力を発揮させ、自信を持たせる。

＜係以外の生徒に対して＞

- ・フォロワーとして、リーダーに協力していくことを学ばせるとともに、文化祭は一人ひとりの生徒が力を合わせてつくりあげるものであり、決して人任せにすることのないように意識させ、自分ができることに取り組ませる。

○事後指導（学活）

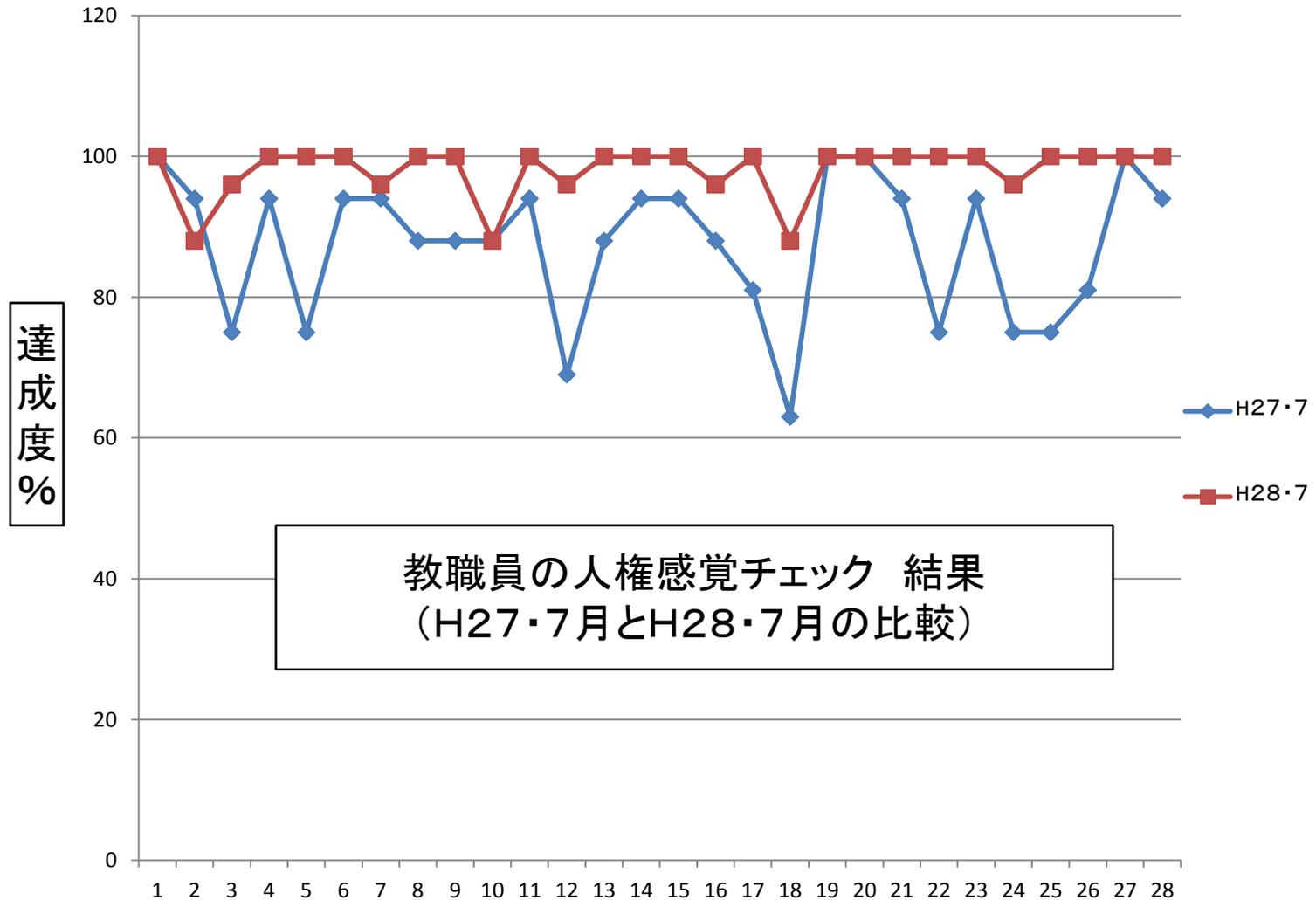
- ・実行委員など友和祭準備に係わってきた仲間に対して感謝や誇りの気持ちを持って友和祭に取り組むことができたか。また、一人一人が友和祭をつくっている意識を持って、合唱・舞台発表・展示発表において主体的な取り組みができ、さらに、友だちと協力できたか。
- ・合唱コンクールにおいて、一人一人が真剣に一所懸命取り組み、クラスみんなでひとつのものをつくりあげる努力をし、それに対する達成感が得られたか。
- ・合唱・吹奏楽・各発表を静かに聞き、声援や拍手を送るなど仲間の頑張りを認めることができたか。また、展示発表等で作品を鑑賞することを通して友達がいかに上手に、お互いを認め合うことができたか。



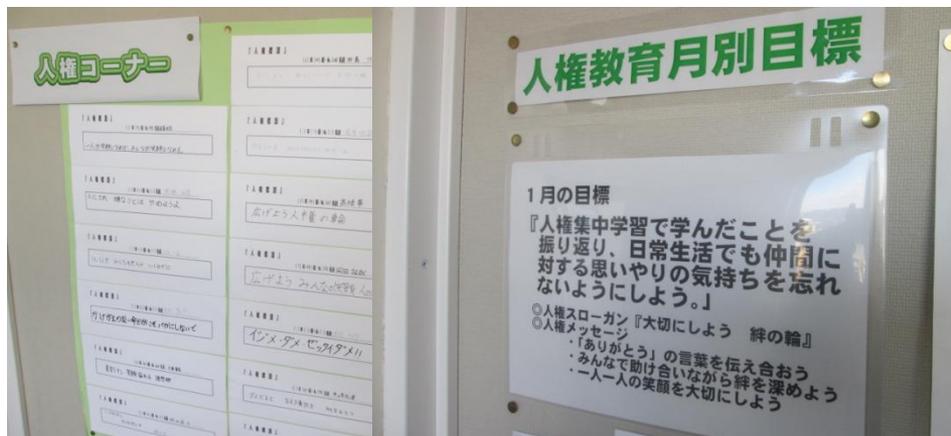
## 校内研修だより

# 【教職員の人権感覚】

## 教職員の人権感覚チェック



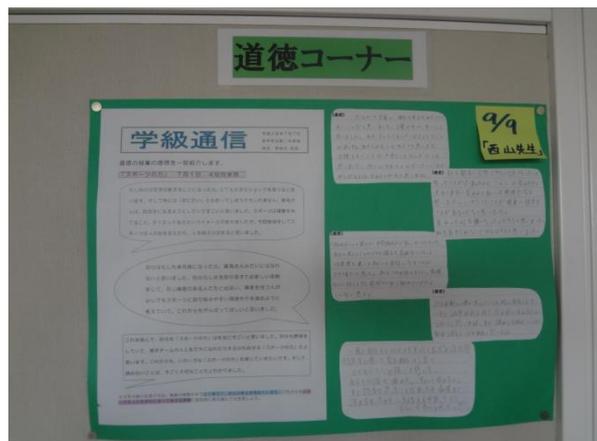
# 【掲示物の工夫】



人権コーナー



人権スローガン



道徳コーナー



友和祭 壁画



# 【PTAとの連携】



PTA・生徒合同のあいさつ運動



PTA広報誌の発行



PTAセミナー 人権講演会



授業参観「人権スローガンを考えよう」

# 終わりに

- 全教育活動を通じた取組
- 教職員の人権感覚高揚
- 常時指導の充実
- 一人一人を大切にした授業
- 「群馬県人権教育充実指針」「人権教育推進資料」の活用



ご清聴ありがとうございました。